

甲南大 体操クラブ × 神戸の中学部活 地域移行「コベカツ」

# 共に学び合う場期待

甲南大学  
全学共通教育センター教授  
吉本 忠弘 氏



## 市内大学で初の制度承認

甲南大学が運営する「KONANスポーツクラブ」に新設された中学生対象の「体操競技ビギナーコース」がこのほど、学校の部活動を地域に移行する神戸市の新制度「KOBE◆KATSU（コベカツ）」に承認された。同大学体育会体操競技部の練習時間に合わせて4月から中学1年生2人を受け入れ、大学生、中学生双方にとって学び合う場になることが期待される。

甲南大学公式  
キャラクター  
なんぼーくん



甲南大学

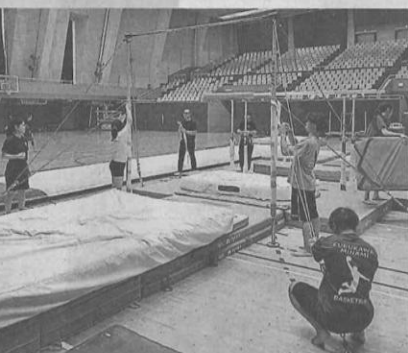
## 安全、真剣に取り組める環境確保

「スポーツクラブ」の中に新たに体操競技ビギナーコースを設け、受け皿となるための態勢を整えてきた。これまでに神戸市から承認された体操競技団体は5団体で、本クラブは神戸市東部エリアでは初承認となる。体操競技ビギナーコースは4月から活動を開始。体操競技部の練習時間に合わせ、練習拠点の講堂兼体育館で中学生を受け入れる。「練習ではまず器具の設置に準備を要するので、この活動を通して大学生と中学生の協働関係を築いていってほしい。いずれは大学生が中学生の練習の二本として活躍し、大学生のリーダーシップを養うことにもつながれば」と期待する。体操競技部では毎年12月に、神戸市内で体操競技をしている中学生らを集めた大会「KOBE KONAN CUP」を開催しており、中学生は大会に向けて競技レベルの向上を目指す。

吉本教授は「今後、神戸市の中学校から部活動がなくなってしまう。行き場を失った中学生のために大学としての受け入れ態勢を整え、安全かつ真剣にスポーツに取り組める活動環境を確保したい」と語る。市内の大学で「コベカツ」を受け入れるのは初めてのケースである。「大学スポーツ施設を用いた地域貢献のモデルケースとして、運営面での課題を解決しながら活動を充実させていきたい」と将来を展望している。

## 「地域貢献の良いモデルケースに」

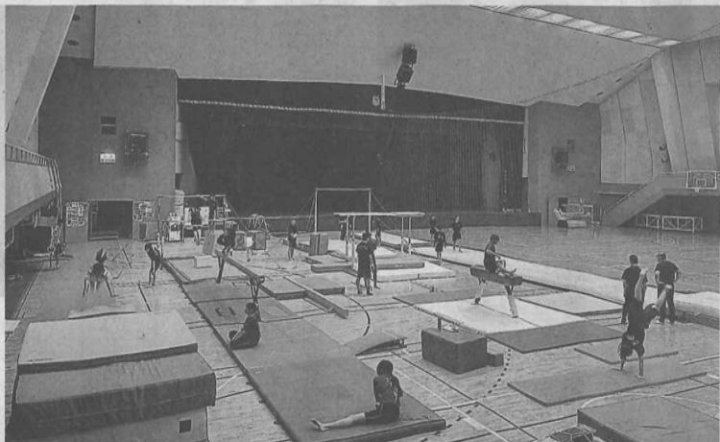
甲南大学では、大学が持っている知的資源（研究内容、人的資源（人材）、物的資源（施設）を活用した地域社会貢献を目的として「KONANスポーツクラブ」を開設している。当クラブ内の体操クラブではそれ以前の2014年から年少小学生校低学年向け、15年からは練習場所を持たない中学生、高校生向けの体操教室を始め、学外指導者の協力を得ながら運営を軌道に乗せてきた。「私自身、中学時代に体操競技を始めた時、周囲の学校で練習をさせてもらいながら競技を続けられた感謝の気持ちや活動の根底にある」と体操競技部顧問で、体操競技ビギナーコースの指導に当たる予定の甲南大学全学共通教育センター、吉本忠弘教授は思いを語る。



「KOBE KONAN CUP」の運動器具の撤収作業に、参加した中学生選手たちの姿も



つり輪の練習をする大学生部員と補助を行う吉本教授



体操競技部が練習する甲南大学岡本キャンパス体育館がコベカツの活動場所になる

PR

2026年3月29日(日) 神戸新聞掲載